



学校だより第1号

本校の教育目標

- 1 進んで学び、協力しあう生徒の育成
- 2 規律を守り責任を果たす生徒の育成
- 3 健康で、思いやりのある生徒の育成

4月より江東区立深川第八中学校より校長として異動してきました根本 正春(ねもと まさはる)です。
教科は数学です。

- ・ 生徒が安心して登校でき、満足して下校できる学校
- ・ 「ワクワク・ドキドキ」生徒の笑顔があふれる学校
- ・ 地域と共にある持続可能な学校

を目指して学校経営をしていきます。学校経営方針は学校のHPに載せていますので、ぜひご覧ください。

4月6日の着任式で2・3年生に、「日々前進」を大切にしてほしいという話をしました。一部省略しますが、以下に話した内容を載せます。

「日々前進」

そのような皆さんに、今日送りたい言葉が「日々前進」です。

数学として考えてみましょう。今日の皆さんを1と仮定します。この1年間365日何もしないで生活すると、1の365乗(1を365回かける)となり、1のままです。しかし、「日々前進」を繰り返すとどうなるでしょうか。例えば、1.01の365乗(1.01を365回かける)は、およそ37.8となり、今の皆さんの約38倍に成長することができます。次に、怠惰な生活を繰り返して、「日々後退」を繰り返すとどうなるでしょうか。例えば、0.99の365乗(0.99を365回かける)は、およそ0.03となり、わずか3%となってしまう、限りなく0に近づいてしまいます。

毎日授業で一回は手を挙げる、毎日廊下ですれ違う先生や友達に挨拶をするなど、どんな些細なことでも、「日々前進」を繰り返してみましょう。今日の努力は必ず明日につながっています。そして、その努力は必ず大きな力となって、皆さんにもどってきます。だからこそ、日々の努力が大切であり、常に「日々前進」を繰り返すことが大切なのです。

「日々前進」の話をしてきましたが、もちろん、「決して休まずに走り続けろ」と言っているわけではありません。時には、壁にぶつかって悩んだり、失敗して落ち込んだり、足が止まってしまうこともあるかもしれません。大切なことは、「止まったままでいないこと」です。転んでも、ゆっくりでもいいので、一人ひとりが自分の歩幅で一歩ずつ踏み出していくことが大切なのです。



また、4月7日の入学式では式辞の中で、新入生に校章の由来から「清く・正しく・明るく」を学校生活で大切にしたいという話をしました。こちらの一部省略しますが、以下に話した内容を載せます。

さて、皆さんこれは何かわかりますか。これは、本校の校章になります。この校章の由来は、「清く、正しく、明るくあれと、雪の結晶の形を三対の剣形で下地にし、生徒が自らを伸ばし、学校が発展することを念じて、月桂樹の葉三枚をその上に重ねたもの」とあります。



皆さんには、この校章のように、「清く、正しく、明るく」を、この三年間の学校生活で大切にしたいと思います。

「清く」とは、「自分の心にうそをつかない」ということです。中学校では、これまで以上に自分で判断し、行動しなければならない場面が増えてきます。迷ったとき、苦しいときこそ、自分の心に恥じない選択ができるように、清らかな誠実さを大切にしてください。また、それでも迷い、悩むときは、遠慮なく周囲の大人に相談してください。私たちは、皆さんの相談にのりますので、安心してください。

「正しく」とは、「自分を律する」ということです。学校は小さな社会であり、自分とは違う考えや価値観、個性をもつ仲間が集まります。お互いを尊重し、正しいことを正しく行える関係を築いてください。

「明るく」とは、「前向きに挑戦する」ということです。勉強や行事、部活動や地域の習い事など、何でも構いません。失敗を決して恐れず、笑顔を忘れず、仲間と励ましあいながら、「日々前進」を心がけ、挑戦を続けてください。そして、皆さんの明るいエネルギーをとおして、この学校をより明るい学校にしていきたいでしょう。

最後に、これからも「学校・家庭・地域が三位一体となり、生徒の健全育成に努めていけるような学校づくり」を目指したいと考えています。学校の様子などもHPで発信していきますので、ぜひご覧ください。それでは、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

<校内組織・教職員の定期異動を掲載しています>